

平成25年度 第3回 国立大学法人北海道大学経営協議会議事要旨

日 時 平成26年1月21日(火) 14:30～16:45
場 所 事務局 第一会議室A
出席者 23名
(学内) 山口総長, 三上, 上田, 新田, 安田, 川端, 鏑山, 村田, 吉見, 嵯峨, 寶金, 宇山 各委員
(学外) 毛塚, 近藤, 數土, 高井, 野田, 林, 増山, 松谷, 山崎, 山本, 横山 各委員
欠席者 1名
(学外) 平山委員

議 事

議事に先立ち, 平成25年9月26日の平成25年度第2回経営協議会の議事要旨について確認を行った。

【 議 題 】

- 1 北海道大学フロンティア奨学金の見直しについて
新田理事から, 資料に基づき説明の後, 審議の結果了承された。
- 2 中期計画の変更(国立大学機能強化等)について
(平成26年度予算(予定額)について)
総長から, 本件議題に入る前に, 関連する「報告事項4 平成26年度予算(予定額)について」報告する旨発言の後, 村田理事から資料に基づき報告があった。
次いで, 本件議題について安田理事から資料に基づき説明があり, 文言については, 今後文部科学省との調整により修正もあり得るため, その場合は総長に一任いただきたい旨発言があり, 審議の結果了承された。
なお, 委員から, 特別経費事項における新規プロジェクトの採択件数が3件のみであることについて言及があったことに対し, 村田理事から, 平成26年度の予算編成においては, 従来の教育研究プロジェクトから機能強化のための取組へと予算配分がシフトしており, 本学は機能強化のための取組として選定された18大学のうちの一つである旨発言があった。
次いで, 委員から, 分子追跡放射線治療装置の開発に関して, 3月に陽子線治療センターが完成するとのことであるが, 開所式等を通じ, 開発成果やさらなる発展のための取組の重要性等を積極的にアピールするなど, 情報発信に努めていただきたい旨発言があった。
また, 委員から, 今後予定されるスーパーグローバル大学等事業の申請に当たっては, 相対的かつ客観的な分析及び自己評価を行ったうえで構想をとりまとめていただきたいこと, さらに, 採択結果が出た後には, 本協議会において分析・自己評価と最終的な結果を踏まえた意見交換の場を設けていただきたい旨発言があった。

3 平成26年度年度計画の主な事項について

安田理事から、資料に基づき説明の後、審議の結果了承された。

なお、議題2の国立大学機能強化等に係る事項については、文部科学省において中期計画の変更が認められた後に平成26年度年度計画に反映し、次回の本協議会に附議する旨補足説明があった。

4 規程の改正について

(北海道大学の研究戦略について)

総長から、本件議題に入る前に、関連する「報告事項1 北海道大学の研究戦略について」報告する旨発言の後、川端理事及び上田理事から資料に基づき報告があった。

次いで、本件議題について川端理事から資料に基づき説明があり、審議の結果了承された。

なお、委員から次のとおり発言があった。産学官連携の推進を掲げるのであれば、これらに関連する研究戦略等については、あらかじめ関係機関への説明やそれを踏まえての議論が必要である。産学官連携により進める競争的プログラムの採択状況は芳しいものとはいえない。他大学では、申請段階から大学と関係機関が密接に連携し戦略を立てており、さらにヒアリングにおいても関係機関の存在感を強調するといった工夫が見られることから、北海道大学においても構想段階から十分な連携を図るよう改善いただきたい。「研究力強化の3つの柱」の1つとして掲げる「次世代型産学官連携の推進」について、「次世代型」が何を示しているのか分かりにくい。既存組織等が十分に機能すれば産学官連携の推進に問題はないと考えている。新たに立ち上げる大学力強化推進本部については、産業界・経済界との組織的な連携のための仕組みが明確でない。地域連携の推進という視点が必要ではないか。

これに対し、川端理事から、産学官連携の体制について検討し、次回の本協議会において報告したい旨発言があった。

また、委員から、世界大学ランキングについて、順位を上げなければ大学法人が存続できないという認識に立ち、総長のガバナンスの下で部局別の貢献度等について評価を行い、その結果を学内に公開するといった取組を行っていただきたい旨発言があった。

さらに、委員から、資料にある世界大学ランキングの分析は国内大学との比較に限られているが、世界のトップクラスを目指すのであれば、トップレベルの大学や近年急激に順位を上げている大学を比較分析の対象とすべきではないかとの発言があり、上田理事から、入手可能なデータが限られていたため国内大学との比較を行ったところである。現在、東南アジアの上位の大学の取組について調査を行っているところであり、今後はこれらも踏まえて分析を行いたい旨発言があった。

【 報告事項 】

1 北海道大学の研究戦略について

(議題4と併せて報告済み)

2 職員の給与について

村田理事から、資料に基づき報告があった。

- 3 平成25年度補正予算(第1号)案等について
村田理事から、資料に基づき報告があった。
- 4 平成26年度予算(予定額)について
(議題2と併せて報告済み)
- 5 公的研究費等の不適切な経理処理に係る調査状況等について
新田理事から、資料に基づき報告があった。

(以 上)